

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	旭川荘厚生専門学校
設置者名	学校法人 旭川荘

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	児童福祉学科	夜・通信	450時間	160時間	
医療関係専門課程	看護学科	夜・通信	1035時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	旭川荘厚生専門学院
設置者名	学校法人 旭川荘

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元岡山県教育長	2019.3.21 ～2022.3.20	コンプライアンス、企画
非常勤	元岡山市教育長	2019.3.21 ～2022.3.20	コンプライアンス、企画
非常勤	物流会社 代表取締役会長	2019.3.21 ～20.22.3.20	企画・調整
非常勤	障害者雇用事業所 代表取締役	2019.3.21 ～2022.3.20	障害者との共生
非常勤	学校法人 理事長	2019.3.21 ～20.22.3.20	現場が求める保育人材の育成
非常勤	社会福祉法人 理事長	2019.3.21 ～2022.3.20	障害者との共生
非常勤	社会福祉法人 専務理事	2019.3.21 ～2022.3.20	企画・調整
非常勤	社会福祉法人 施設長	2019.3.21 ～20.22.3.20	障害者との共生
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	旭川荘厚生専門学院
設置者名	学校法人 旭川荘

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>《2学科共通》</p> <p>○ 教務課で作成した共通フォーマットに各学科・教科科目担当者が下記記載事項を記入して原案を作成し、教務主任会で審議の上、内容を確定する。</p> <p>○ 毎年度、全授業科目の講義概要・年間授業計画(シラバス)を作成し、入学年度当初(授業開始前)に全学生に配布している。</p> <p>《記載内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修年次及び学期 ・科目名、授業形態・必修・選択の別、履修時間数及び単位数 ・教員氏名 ・授業の概要及び目的(到達目標) ・テキスト等使用する教材 ・授業の方法 ・授業内容(年間を通じて、時間ごとに記載) ・成績評価の方法及び基準 <p>(筆記試験・実技試験:実施形態・実施時期、実習科目においては実習先指導者の評価、作品・レポート等の提出物、ノート・ワークブックの内容、出席状況、受講態度等)</p> <p>○ 毎年度、教育課程、履修及び単位認定、卒業認定等に係る規定を明記した「学生便覧」を作成し、入学年度当初(授業開始前)に全学生に配布している。その中で、各授業科目の成績評価について、シラバスに示された評価方法を総合した成績が60点以上をもって合格(単位認定)になることを周知している。また、これらの内容を入学時に全学生参加のオリエンテーションで説明している。</p> <p>《看護学科》進級時のオリエンテーションでも履修について説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>《2学科共通》</p> <p>○ 筆記試験は、科目の特性や時間数に応じて、授業時間内で行う小テスト、中間試験、終講試験など多様な形態で適切に実施している。</p> <p>《児童福祉学科》</p> <p>○ 多くの授業科目において、学修意欲の観点から出席状況の評価に加味している。また、授業における関心・意欲・態度の観察や作品・ノート・提出物の内容等を多面的に評価し、学修成績に加味している。</p> <p>○ 模擬保育、体験的学習、地域行事への参加など、活動的な学習も多い。課題解決力、グループ学習における対人関係能力、活動報告会等におけるプレゼンテーション力等のスキルや主体的な学習態度など、知識以外の要素も含めて総合的に評価している。</p> <p>○ 保育所、児童養護施設、障害児者施設等での実習においては、専任教員と実習先指導者が密に連携し、保育における実践力・判断力・対応力、実習態度や協調性、実習日誌などをもとに、総合的・客観的に評価している。</p> <p>○ 実習の評価は、4～5段階で評価点を設定したり、観点ごとの点数配分を設定したりするなど、客観的な評価が行えるようにしている。</p>	

<p>《看護学科》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの授業科目において、学修意欲の観点から出席状況を評価に加味している。また、授業における思考・判断・表現やノート・提出物の内容等により多面的に評価し、学修成績に加味している。 ○ 自ら目標をもって計画的に取り組むことを重視したプロジェクト学習という手法を取り入れており、まとめる力、プレゼンテーション力等のスキルや努力する姿勢など、知識以外の要素も含めて総合的に評価している。 ○ 臨地実習をはじめとする実習においては、専任教員・実習指導教員と実習先指導者が密に連携し、看護における実践力・判断力・対応力、実習態度や協調性、実習俯瞰一覧表・リフレクションノートなどをもとに、学生の自己評価も踏まえ、合議のうえ総合的・客観的に評価している。合格の可否は学科で評価会議を行い、審議のうえ決定している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《2学科共通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義科目については各科目の年間授業計画（シラバス）における「評価方法」に提示している内容に基づき点数化し、学則（学生便覧に明記）で次のように区分している。 <ul style="list-style-type: none"> ・優・・・80点以上 ・良・・・80点未満70点以上 ・可・・・70点未満60点以上 ○ 演習科目については各科目の演習ごとに評価基準を設定し適切に点数化している。 ○ 実習科目については、年間授業計画（シラバス）における「評価方法」に提示している内容に基づき点数化している。実習ごとに評価表を作成しており、各施設指導者に評価を依頼している。 <ul style="list-style-type: none"> ・優・・・80点以上 ・良・・・80点未満70点以上 ・可・・・70点未満60点以上 <p>《児童福祉学科》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末に学年順位を出し、各個人に伝達する。 ○ 年度末の成績分布を学生に対して周知する。 <p>《看護学科》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学生自身が自分の成績ランクを知るためには、申し出により学年の成績順位及び点数の平均点を周知している。 ○ 臨地実習については、各領域（基礎、成人、老年、小児、母性、精神、統合）別にループリック[※]で評価をしている。評価の質に関しては、毎年形成評価をしながら評価内容を見直し、「信頼性」と「妥当性」を考慮して看護学科会議で審議し実施している。 <p>※ループリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」つくりの方法論であり、学生が何を学修するのかを示す評価基準と学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準をマトリクス形式で示す評価指標（中央教育審議会 大学教育部会より）</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○ 修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の資質と能力を身につけたと認められる者に卒業を認定し、専門士の称号並びに児童福祉学科においては保育士の登録資格を、看護学科においては看護師国家試験の受験資格を付与する。

《身につけるべき資質・能力》

- ・ 豊かな人間性と専門職としての倫理観及び人権感覚
- ・ 専門職として必要な知識、技術及び実践力
- ・ 職業上必要な人間関係能力、コミュニケーション力及びプレゼンテーション力

○ 毎年度、教育課程、履修及び単位の認定、卒業認定等に係る規定を明記した「学生便覧」を作成し、入学年度当初（授業開始前）に全学生に配布している。その中で、2年以上の在学期間、所定の教育課程を修了すること等の卒業認定条件を公表している。

○ 「学生便覧」には、卒業要件として修得しなければならない科目について、名称、授業形態、時間数、単位数を系列ごとにまとめた教育課程表を掲載している。

○ 卒業の認定にあたっては、全学生を対象に要件を満たしているか否か個別に学科会議で確認したものを全学科の教務主任による会議で審議し、その結果を原案に「卒業認定会議」で決定している。卒業認定会議では、学院長、副学院長、全学科長、教務・入試・庶務の各担当課長による審議のうえ、学院長が決裁している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	旭川荘厚生専門学校
設置者名	学校法人 旭川荘

1. 財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html
収支計算書又は損益計算書	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html
財産目録	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html
事業報告書	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html
監事による監査報告（書）	https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	児童福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	585 単位時間 /単位	1170 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	単位時間 /単位	60 単位時間 /単位
			2355 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		58人	0人	7人	45人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・毎年度、全授業科目の講義概要・年間授業計画（シラバス）を作成し、入学年度当初（授業開始前）に全学生に配布している。
《記載内容》 ・履修年及び学期 ・科目名、必修・選択の別、履修時間数および単位数 ・教員氏名 ・授業の概要及び目的 ・テキスト等使用する教材 ・授業方法 ・授業内容（年間を通じて、時間ごとに記載） ・評価方法
成績評価の基準・方法

(概要)

- ・科目の成績評価は、80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可、60点未満を不可とし、優、良、可をもって合格とする。
- ・筆記試験・実技試験：実施形態・実施時期、実習科目においては実習先指導者の評価、作品・レポート等の提出物、ノート・ワークブックの内容、出席状況、受講態度等、科目ごとに記載。
- ・模擬保育、体験的学習、地域行事への参加など、活動的な学習も多く、課題解決力、グループ学習における対人関係能力、活動報告会等におけるプレゼンテーション力等のスキルや主体的な学習態度など、知識以外の要素も含めて総合的に評価している。
- ・保育所、児童養護施設、障害児者施設等での実習においては、専任教員と実習先指導者が密に連携し、保育における実践力・判断力・対応力、実習態度や協調性、実習日誌などをもとに、総合的・客観的に評価している。評価は、4～5段階で評価点を設定したり、観点ごとの点数配分を設定したりするなど、客観的な評価が行えるようにしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・毎年度、教育課程、履修及び単位の認定、卒業・進級認定等に係る規定を明記した「学生便覧」等を作成し、入学年度当初（授業開始前）に全学生に配布している。その中で、2年以上の在学期間、所定の教育課程を修了すること等の卒業・進級認定条件を公表している。
- ・卒業・進級の認定にあたっては、全学生を対象に要件を満たしているか否か個別に学科会議で確認したものを全学科の教務主任による会議で審議し、その結果を原案に、「卒業・進級認定会議」で決定している。卒業・進級認定会議では、学院長、副学院長、全学科長、教務、入試、庶務の各担当課長による審議のうえ、学院長が決裁している。

学修支援等

(概要)

個人面談・個別指導 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	36人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)
保育所、認定こども園、障害児・者施設 等

(就職指導内容)
個人面談、就職ガイダンス、マナー講習、面接指導 等

(主な学修成果（資格・検定等）)
保育士資格、障害者スポーツ指導員（初級）

(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	5人	7.1%

(中途退学の主な理由)
進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)
個別面談、保護者との連絡・連携、退学防止に関する研修会参加

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療関係専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000 単位時間 / 99 単位	1905 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			3000 単位時間 / 99 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人		337人	0人	23人	60人	83人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度、全授業科目の講義概要・年間授業計画（シラバス）を作成し、入学年度当初（授業開始前）に全学生に配布している。 <p>《記載内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修年及び学期 ・ 科目名、履修時間数および単位数 教員氏名 ・ 授業の概要及び目的 ・ テキスト等使用する教材 授業方法 ・ 授業内容（年間を通じて、時間ごとに記載） ・ 評価方法 							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 科目の成績評価は、80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可、60点未満を不可とし、優、良、可をもって合格とする。 筆記試験・実技試験：実施形態・実施時期、実習科目においては実習先指導者の評価、レポート等の提出物、ノートの内容、出席状況、受講態度等、科目ごとに記載。 臨地実習については、各領域（基礎、成人、老年、小児、母性、精神、統合）別にルーブリックで評価している。評価の質に関しては、毎年形成評価をしながら評価基準を見直し、「信頼性」と「妥当性」を考慮して看護学科会議で審議し実施している。 							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度、教育課程、履修及び単位の認定、卒業・進級認定等に係る規定を明記した「学生便覧」等を作成し、入学年度当初（授業開始前）に全学生に配布している。その中で、3年以上の在学期間、所定の教育課程を修了すること等の卒業・進級認定条件を公表している。 卒業・進級の認定にあたっては、全学生を対象に要件を満たしているか否か個別に学科会議で確認したものを全学科の教務主任による会議で審議し、その結果を原案に、「卒業・進級認定会議」で決定している。卒業・進級認定会議では、学院長、副学院長、全学科長、教務、入試、庶務の各担当課長による審議のうえ、学院長が決裁している。 							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>国家試験対策・個人面談・個別指導 等</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
113人 (100%)	1人 (0.9%)	109人 (96.5%)	3人 (2.6%)
(主な就職、業界等) 病院・診療所・福祉施設・保育所 等			
(就職指導内容) 個人面談、就職ガイダンス、マナー講習、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格、保健師・助産師・養護教諭（1種）養成所の受験資格、 看護大学3年次編入試験の受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
366人	20人	5.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連絡・連携、退学防止に関する研修会参加		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
児童福祉学科	270,000 円	360,000 円	325,000 円	施設整備費 185,000 円、実験実習費 70,000 円他
看護学科	270,000 円	360,000 円	355,000 円	施設整備費 185,000 円、実験実習費 100,000 円他
修学支援 (任意記載事項)				
(入学試験時の支援) 卒業生・在学生・旭川荘職員の2親等までの親族(子・兄弟姉妹・孫)は入学金を半額免除。 《児童福祉学科のみ》A0、推薦、社会人入試合格者は、入学金を1/3免除。 (特待生制度) 新入生：推薦・一般入試合格者のうち成績・人物ともに優秀な者を特待生とし、入学後1年間、授業料を1/3免除。(看護学科は約8名程度、その他の学科は若干名) 在学生：人物・学業・成績ともに優秀な者を各クラス2名程度特待生とし、授業料を1/3免除。(進級時見直し)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://asahigawasou.ac.jp/gakuin/genmei.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制含む) (基本方針) 1. 自己評価結果の客観性・透明性を高める。 2. 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。 (評価項目) 1 教育理念・目的、2 学校運営、3 教育活動、4 教育成果、5 学生支援、6 教育環境、 7 学生募集、8 財務、9 法令遵守、10 社会貢献 自己評価結果を雁行県警者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。 関係者評価委員会は関連業界等関係者、卒業生、保護者、教育に関し知見を有する者、その他学院長が必要と認める者の中から構成する。学院長は学校関係者評価結果を理事会に報告し承認を受けるとともに、教育活動及び学校運営の質の保証と向上に努めなければならない。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人	令和元年6月1日～令和3年5月31日まで	関連業界関係者
社会福祉法人	〃	卒業生
社会福祉法人	〃	卒業生
高等学校	〃	関連業界関係者
後援会	〃	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://asahigawasou.ac.jp/gakuin/ 2020年度から評価を実施・公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://asahigawasou.ac.jp/gakuin/
--